

救急車の通報は119番 緊急時だけ利用して ―場所、負傷者数、状態を要領よく―

救急車の出動が最近目だつて多く、交通事故による出動は、昨年度に比べていくぶん少なくなつていますが、それが、交通事故、労働事故、その他一般負傷などの緊急を要する患者が発生した場合にだけ、一九番で



消防署に新しく配備された新型救急車

ださい。消防署では、みなさんの通報によって緊急度合いを判断し、搬送先の医師に連絡したり、より早く診療が行なわれるよう、いろいろな手続をいたします。

消防署に 新型救急車

救急患者などの輸送に、日夜走り回つて市民の生命を守る救急車(写真が、古い小型の救急車に代わつてこの消防署に配備されました。この救急車は、日赤から新津市地区の救急活動用として貸与を受けたもので、座席定

員七名のうち、患者用ベッド二席を備えた新型車です。また車内は、応急手当もできる広さです。
なお、五年前に貸与を受けた小型の古い救急車は、このまま消防署で払い下げを受け、今後とも活躍することになりました。

今からでも 遅くない 交通共済に 加入しよう

市民のみなさん、県交通災害共済制度にご加入になっていませんか。この制度は、万一の交通事故に備え、加入者相互で助け合おうと発足したもので、今年でも六月を目を迎えています。

これまでの例を見ると、不幸にして交通事故に会いながらも未加入であったため、見舞金を受けられなかった例が意外と多くありました。
加入は、これからでも遅くありません。ぜひ、この機会に掛け金の安い共済制度に加入しておきましょう。

会費は一人三百五十円で、加入期間は、来年の三月三十一日までです。なお申込み先は市役所市民課ですが、農協・銀行の窓口でも受付けています。



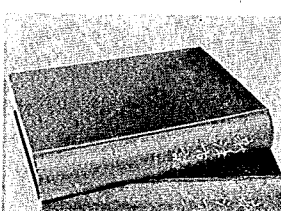
編纂者 田村氏
統市誌を執筆される

統新津市誌を編纂 田村氏 資料収集にご協力を

新津市が市制をしてから今年で二十三年目、市では昭和五十二年の市制施行二十五周年をメドに「統新津市誌」の編纂に取りかかることに

発行されたものです。その後三十年には、金津、小合村の合併があり、三十二年には新開村の一部も新津市に仲間入りして現在にきています。この間二十余年、いろいろな移り変わりがありました。

いろいろな資料などを見させていただくことになりました。ぜひご協力ください。
なお、みなさんのご家庭で古文書やいろいろな資料がございましたら、図書館にもお知らせください。電話は二局〇〇九七番です。



昭和26年に編さんされた新津市誌

「封筒募金」 にご協力を 社会を明るく する運動に活用

今月は社会を明るくする運動

動の推進月間です。この運動は、犯罪の防止や、罪を犯した人たちの自立更生をはかって、明るいまちをみんなの手で、すすめることに行なわれるものです。

河川愛護は みんなで



(27)

太平洋戦争の始まった頃であったから、昭和十六年であったと思う。私はその頃女学校の教師をしていた戦時下のことで、女学生にも軍の講話を聞かせ、座禅をやらせるというので、私もクラス担任の一人として彼女等を率えて行くことになった。

その寺は瀬波町(今は村上)の寺で、昭和十六年、食迄の休憩時間に、四、五名の女学生と墓地の石塔の間を散歩していると、一つの変わった墓石が目についた。その表には、

赤い信女

阿達義雄

うしたので「か」と不審そうに私に聞くのであった。私は得意になって次のように説明してやったことを今でも記憶している。
「夫に死なれた女を未亡人と言ふでしょう。それは夫と共に魂は墓の中に這入ったつもりで生きてる女という意味です。この朱を入れた女の戒名は、その気持ちを表わした

もので、この未亡人が死んだ時になって初めて、この朱の文字が墨で潰されることになっていきます。昔は大抵こうしたもので、今では珍らしいこととです」

江戸川柳で、「赤い信女」と言えば、後家(未亡人)のことであるが、いかにも

殊勝な感じがする。

●石塔の赤い信女が又はらみ (四〇六)

だが右の句では「また孕み」となっているから、今回が初めてでもなさそうである。

娘を嫁にやつた里(実家)の母親というものは、とかく、婚家先の姑を邪魔者にして、自分の娘可愛さの余り、心ひそかに、その姑の

死を待たうとするようである。婚家で舅が既に亡くなり、姑だけが後家として生き残っていた場合には、特にその傾向が強かった。このことは、

●赤い名を黒くしたがる里の母 (拾遺三三)

右の句によっても知られるが、実家の母のそう思うのも、我が娘の仕合わせを祈つてのことであつて、この気持は石塔の朱文字を墨で潰す石屋にも、よく分つていたと見えて、次のような姑の死んだ時の句がある。

●仕合せは嫁だと石屋朱をつぶす (八五)

殊勝な赤い信女が、通例どのようなことになったかということは、次の句がそれを語っている。

●石へは朱口へは紅粉をべたとさし (六三三〇)

●はつかしき信女は赤し乳は黒し (二六三六)

(新潟大学名誉教授)

夏を迎えると、水が恋しくなる季節です。満々と水をたたえて流れる川を見ると、気分がすっきりします。市内を分岐する河川も、市民のみなさんのご協力で、とってもきれいになりました。川に、心ない人たちのゴミや汚物などの不法投棄があつたのでは、またもの川にもどつてしまいます。みんなで川を守つてやりましょう。また夜間、堤防に駐車しておくとか非常に危険です。注意しましょう。

郵便物には番号入れて

○郵便局から

○郵便局では、いますべての郵便物を、郵便番号によって区分けしています。差し出す郵便物には、郵便番号、町名、住居表示を忘れずに正しく記入するなど協力しましょう。

○雨の日などには、郵便受け箱があると、郵便物がぬれないで済みます。この受け箱の設置も勧めます。またあつてはいいです。

○七月二日から暑中見舞いのハガキが二種類発売されます。今年のハガキは、紙質もよく、裏の図柄も四色刷りとなつて、豪華になりました。夏だよりの交換などには最適です。

駐車場完備

胃腸・皮膚・肛門(ち)・泌尿・X線

山田外科医院

新町2丁目1-6 TEL(2)0432

小出医院 森川医院 大坂医院 小林歯科 山田外科

Nikon F2 Photomic
ニコンカメラ販売店
カメラのササヅキ
本店 新津市本町4丁目5-6 TEL(代)210045
新町店 新津市新町1丁目2-29 TEL(2)2484

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6-12 TEL(2)1731